

Zinc Black

低光沢処理・黒色めっき鋼板補修用塗料

受注生産品

色調はN3.0～N6.0生産可能

荷姿

◆ジンクブラックスプレー(1本:300ml)

◆ジンクブラック刷毛(100g～石油缶)

溶融亜鉛めっきは、その銀色の光沢が周囲の景観と馴染まないことがあるため、景観が調和する黒～グレーの色合いの低光沢処理鋼板が使用されるケースが増えています。その鋼板も傷部や切断・溶接部は光沢のある鋼材面が露出するため、補修が必要となります。そんな低光沢処理鋼板の補修のために開発された製品が「ジンクブラック」です。

1 低光沢処理鋼板に目立たない補修

色調を明度N3.0～6.0から選択することが可能で、現場の鋼板の色に合わせた補修が可能です。また、経年変化で亜鉛めっきと同様に退色し、長期的にも補修箇所が目立ちません。

2 黒色の意匠性仕上げ

補修だけでなく、通常の亜鉛めっき鋼板の上から塗装することで、低光沢処理をしたような意匠性の高い仕上りになります。

3 速乾性かつ優れた塗膜性能

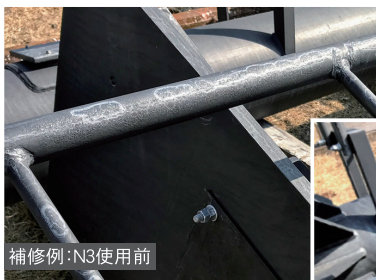
指触乾燥10分と速乾性で次工程に早く取り掛かれるため、作業工程の短縮が期待できます。また、形成される塗膜は、エポキシ樹脂と亜鉛粉末の配合により高い密着性と防錆力を発揮し、補修箇所を長期間さびから守ります。

4 無駄なく必要な分だけ調達可能

スプレー1本、刷毛用は100gから受注生産にて販売致します。したがって、小さな面積の補修にも必要量を無駄なく調達できるため、とても経済的です。

5 補修用黒色塗料として豊富な実績

低光沢処理めっき鋼板や黒ZAM®などのめっき鋼板の補修に多数実績があります。標識柱、送電鉄塔、内外装材、ケーブルラック、ダクトなどの各種構造物や様々なめっき製品の補修に、また部材やボルトなどの色相合わせにも幅広くご使用いただいております。



補修例:N3使用前



補修例:N3使用后

使用用途

◆低光沢処理(亜鉛めっきリン酸塩処理)をした亜鉛めっき鋼板の補修

◆黒色めっき鋼板や黒ZAM®の補修

※「黒ZAM」は、日本製鉄株式会社の登録商標です。「黒ZAMJ」は、日本製鉄株式会社が開発した溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板の商品名です。

塗装仕様について

ジンクブラックは色調が暗いほど、カーボンの添加量が増え亜鉛末が減るため、防錆力は下がる傾向にあります。色調が暗めで、防錆力も必要(鉄の地肌への塗装など)な場合は、当社品の「ジンクZ96」を下塗りいただくと長期防食が期待できます。(めっき鋼板の溶接・切断箇所や腐食環境の厳しい場所等)

塗装上の注意

ジンクブラックの性能を十分に引き出す為には、前処理が非常に重要です。塗布面の旧塗膜や油、スラッグなどは全て取り除き、鉄または亜鉛めっきの地肌に直接塗って下さい。詳しい前処理方法は「ジンクブラック塗装仕様書」をご参照下さい。

ハケ塗り

ハケ塗りは全て割合済みですので、十分に攪拌してそのまま塗布して下さい。塗装中に溶剤が揮発し粘度が上がってきた場合には、専用のうすめ液を適量加えて元の粘度に調整してください。最初から薄めてしまうと、亜鉛末の付着量が少なくなり、本来の防錆力が得られなくなります。ガン塗装される場合は、専用うすめ液で5wt%程度希釈してご使用ください。※うすめ液は必ず専用のうすめ液をご利用ください。(スーパージンクうすめ液)※使用した刷毛等を洗浄する際は、通常のトルエン・キシレンを使用することも出来ます。

エアゾールスプレーの目詰まり防止の為に

エアゾールスプレーを噴射後、そのままの状態では保存すると、噴射口とエアゾール缶の中のチューブに亜鉛末が固化し、目詰まりの原因となります。使用前は、よく缶を振り、使用中で止める際は、エアゾール缶を逆さまにして3秒ほど空吹きして下さい。詳しくは、「エアゾール缶の詰まり防止について」をご参照下さい。